

第 24 回 ISOE 運営委員会議事概要

I. 日 時：2014 年 11 月 5 日（水）～6 日（木）

II. 場 所：OECD / NEA（フランス）、会議室 D

III. 出席者：

〔ISOE 幹部会〕

W. Harris（議長、米国）、T. W. Hwang（次期議長、韓国）、S. G. Jahn（副議長、スイス）、B. Okyar（OECD / NEA）、J. Ma（IAEA）

〔ISOE 技術センター〕

C. SCHIEBER、L. D'ascenzo（欧州技術センター、CEPN）、D. W. Miller（北米技術センター、U of Illinois）、J. Ma（IAEA 技術センター；再掲）、崔（アジア技術センター、原安協）

〔ISOE 加盟国代表〕

B.S. Kim（KINS、韓国）、鈴木（規制庁、日本）、
金田（ナショナル・コーディネーター（NC）、原安協）、他 12 カ国から約 30 名

IV. 議事概要

1. 特別セッション

初日の午前は特別セッションとして、原子力施設の廃止措置に係わる放射線防護について電気事業者から構成される NEA/RWMC の CPD（International Co-operative Programme for the Exchange of Scientific and Technical Information Concerning Nuclear Installation Decommissioning Projects）と合同会議を開催した。

2. 関連国際機関の活動（OECD/NEA、IAEA）

CRPPH 事務局のLazo氏が、OECD/NEAのCRPPH（放射線防護・公衆衛生委員会）の活動状況を紹介した。ICRP等との共同作業による福島支援活動、来年（2015）6月にモスクワで開催される予定の科学と価値WS、被ばく評価用ファントム（人体模型）などが紹介された。

また、IAEAのMa氏は、職業放射線防護に関連する安全基準の改定、職業放射線防護に関する第2回国際会議の準備状況、ISOEのIAEA技術センターの活動状況、アジア、東欧・中央アジア、ラテンアメリカ等における地域のALARAネットワークの状況等を紹介した。

3. 国別報告

参加各国から、自国の原子力発電所における被ばく状況、被ばくに係わる事象、被ばく低減化対策等が紹介された。日本からは、NCとして原安協の金田氏が日本の状況を説明した。また、規制庁の鈴木氏から新規制基準等についての説明があった。

4. 2014 年の ISOE の活動成果

以下の項目について、2014 年の ISOE の活動報告が行われた。

- ・ ISOE データベース（被ばく線量データ）の収集・登録及び 2013 年のデータ収集への反映
 - ・ ISOE の国際及び地域 ALARA シンポジウムの概要。慶州でのアジア技術センターのシンポジウムにおける優秀論文の紹介
 - ・ ISOE ネットワーク・ウェブサイトの運営管理に関し、ウェブサイトの登録者数、ウェブサイトの平均アクセス数、MADRAS の改良（11 種類の新しい解析機能の追加）等についての報告等
- なお、ISOE の 20 周年記念誌は、準備が遅れているため、ISOE の 25 周年記念誌に変更して発行する予定。

5. 2014-15 の予算案

予算案の説明の後、承認された。

6. データ分析ワーキング・グループ（WGDA）

WGDA 議長の Staffan（スウェーデン）氏が、WGDA の活動報告に関し、データの確認状況、MADRAS による解析の状況、被ばく量のトレンド、WGDA の将来計画等を紹介した。

7. ISOE と CPD との共同 WG の設置

廃炉措置プラントの被ばくデータについて、ISOE と CPD とのデコミの共同 WG の設置が提案され、承認された。相互協力事項の検討のため、キックオフ・ミーティングを 2015 年 6 月又はブラジルでの ISOE 国際 ALARA シンポジウムの際（2015 年 5 月末）に開催予定。

8. ISOE と NEI との技術協力協定

緊急時の被ばく管理に関し、ISOE と NEI（Nuclear Energy Institute：米国）との技術協力協定が提案され、承認された。

9. ISOE 技術センターの評価指標

2014 年の各技術センターの活動成果に関し、自己評価の結果（優、良、可）を報告。ATC は、昨年に引き続き自己評価結果は「優」である。

10. 2015 年 ISOE 活動計画

2015 年の ISOE 活動計画に関し、被ばくデータ収集、ISOE データ・ベースの改良継続、MADRAS の改良（新機能の追加等）、ISOE 国際 ALARA シンポジウムの予定（2015 年 5 月にブラジルで開催）、報告書の発行、ベンチマーク現場訪問等について提案され、承認された。2015 年 4 月にパリで開催予定の WGDA、ビューロー会合は、5 月の ISOE 国際

ALARA シンポジウムの前後にブラジルで開催する。アジア ALARA シンポジウムは 9 月に日本で開催する予定。

11. 今後の主な会合、シンポジウムの予定

- ・ 2015 年 1 月 12 日～14 日：ISOE 北米シンポジウム（フロリダ）
- ・ 2015 年 5 月 26 日～28 日：ISOE 国際 ALARA シンポジウム、WGDA、ビューロー会合（ブラジル）
- ・ 2015 年 9 月：アジア ALARA シンポジウム（日本）
- ・ 2015 年 11 月 16 日～20 日：WGDA、ビューロー、ISOE 運営委員会（IAEA、ウィーン）

12. 幹部交代

W. Harris 議長の任期満了に伴い、幹部交代が行われた。T. W. Hwang 氏（KHNP、韓国）が議長になり、副議長には現役の S. G. JAHN 氏（ENSI、スイス）が再任された。

なお、Chair-Elect（次期議長）には M. A. Amaral 氏（EletrobrásTermonuclear S.A、ブラジル）が選出された。

以 上